

# 平成28年度 なぎさ保育園 事業報告

なぎさ保育園の運営について（29年3月31日付け）

|     |      |     |     |
|-----|------|-----|-----|
| 児童数 | 121名 | 0歳児 | 12名 |
|     |      | 1歳児 | 18名 |
|     |      | 2歳児 | 22名 |
|     |      | 3歳児 | 22名 |
|     |      | 4歳児 | 23名 |
|     |      | 5歳児 | 24名 |

|     |     |        |               |
|-----|-----|--------|---------------|
| 職員数 | 31名 | 園長     | 1名            |
|     |     | 主任保育士  | 1名            |
|     |     | 副主任保育士 | 1名            |
|     |     | 保育士    | 19名（育休職員3名含む） |
|     |     | パート保育士 | 6名            |
|     |     | 栄養士    | 1名            |
|     |     | 調理員    | 1名            |
|     |     | パート調理員 | 1名            |
|     |     | ふるさと雇用 | 1名            |

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| 嘱託医 | 2名 | 内科医 | 1名 |
|     |    | 歯科医 | 1名 |

## 1. 保育のねらいと反省

イ) 事業計画の保育目標に示された事柄について、各年齢別に応じて保育内容を定め、子どもの自発性、個別の活動、生活及び保育環境等を特に配慮して保育に当たる。従って児童は、日々において生き生きとした活動が展開された。

ロ) 日々の保育経過や結果を記録し、保育のねらいがどのように進められたかを反省、評価し、次の年度への手がかりとした。

### ハ) 保育時間

|          |        |                       |
|----------|--------|-----------------------|
| <標準時間認定> | 早朝保育時間 | 7:00～8:30             |
|          | 通常保育時間 | 8:30～18:00            |
|          | 延長保育時間 | 18:00～19:00           |
| <短時間認定>  | 通常保育時間 | 8:30～16:30            |
|          | 延長保育時間 | 7:00～8:30、16:30～19:00 |

## 2. 主な園の行事

新入児歓迎会・花祭り・お散歩・遠足(幼児)・懇談会または個人面談・プール開き・夏祭り・中高生や高齢者との交流会・引き取り訓練・お月見会・運動会・親子遠足(5歳児)・発表会・クリスマス会・科学遊び教室(3～5歳児、年7回)・体育遊び教室

(3～5歳児、毎週月曜日)・リズム遊び教室(2～5歳児、毎月1回)・どんと焼き・餅つき・節分・ひなまつり・お別れ会・卒園式  
各月 誕生会・避難訓練・交通安全指導・防犯訓練(幼児)

### 3. 保育園の取り組み

- ・他園見学(ときわぎ保育園、多摩川保育園、仁慈保幼園、くらき永田保育園を見学。職員の資質向上を図るため実施した。)
- ・保育士の資質向上のため5園(RISSHO KID'Sきらり、ときわぎ保育園、松が丘保育園、うーたん保育園、なぎさ保育園)の合同勉強会を2回開催(7/30、2/4)
- ・研修会(職員の資質向上を図るため積極的に研修を受けた。園外研修31回、延べ参加人数68名。園内研修3回、延べ参加人数52名。)
- ・プロジェクト型保育、保育ドキュメンテーションの推進  
(幼児クラスの子どもたちが遊びや生活を通して主体的、共同的に学ぶ保育の推進と、写真や文章(エピソード)を使って豊かな学びや経験をしている子どもたちの様子を保護者に継続的に伝える情報発信の推進を行った。)
- ・保育参加の導入(保護者の要望により、今年度から各クラス、月に2、3家庭ずつ保護者が保育に参加できるようにした。10月から開始。)
- ・幼児クラスの主食提供  
(主食代を毎月1,000円/人 徴収し、炊き立てのご飯を幼児の子どもたちに毎日提供。12月から開始。)

### 4. 健康診断

嘱託医による園児の定期内科検診を2回(5/26、11/17)実施。  
嘱託医による園児の定期歯科検診を2回(6/9、12/1)実施。  
検査結果を記録。

### 5. 保育環境及び施設整備

- ・遊技場の整備(別紙参照。①大雨が降ると雨水が上手く排水されず大きな水たまりになっていたため、排水方法の見直しや、地面のレベル調整を行った。②園舎改築後に砂利を含んだ地面になっていたため、子どもの遊び場として適切な地面になるように山砂に入れ替えた。③遊具が老朽化していたため、新しい遊具に入れ替えた。また、既存遊具の補修を行った。④子どもたちが主体的に遊べるように、また、十分に体や五感を使って遊べるように環境を再構成した。⑤子どもが季節感を感じられるように既存のイチョウの木を活かしつつ、植栽を行った。)
- ・遊技場にビデオカメラを設置  
(別紙参照。遊技場の比較的死角になりやすい場所に事故防止用のカメラを配置)
- ・保育業務支援システムの導入(ノートPC1台、保育管理システムの購入)

- ・小規模修繕（園舎外部階段の補修、正門の塀の塗装）
- ・キッチン家具、テーブル、椅子、棚の購入（各保育室のコーナー遊びが楽しく発展するように保育備品を追加購入した。）

## 6. 地域育児センター

### イ) 園庭開放事業、在宅育児支援事業

毎週木曜日に保育園の遊技場や砂場、子育て支援室を開放して、地域の子育て家庭の交流の場を提供した。担当の保育士を決めて子育てのアドバイスや情報提供も行った。また、園の行事にも参加して頂き、園児とも交流してもらった。（お餅つき、夏祭り、親子リズムあそび教室2回など）

延べ家庭数 155家庭

### ロ) 相談機能強化事業

講師を招き、子どもの遊び・玩具・環境構成などについてお話を伺い、相談に乗っていただき、園全体で見直し、改善を行い、職員の資質向上につなげた。また、育児センターの子育て相談、アドバイスに活かした。

### ハ) 実習受け入れ事業

実習中、園児たちとの触れ合いを通して、子どもたちと過ごす楽しさを感じたり、関わり方を学びながら、保育園の役割や保育者の仕事の理解を深めていただいた。

大学生（保育士養成校） ・1名（2/27～3/10）

短大生（保育士養成校） ・1名（2/13～2/24）

### 二) 世代間等の交流事業

老人ホームに出向き、ゲームを一緒に行ったり、歌や演奏を披露しお年寄りとの交流を楽しんだ。

デイケアサービスセンター「ふれあいの森」 ・5歳児（3/2）

中学生・高校生に園児たちとの触れ合いを通じて、保育者の仕事の理解を深めていただいた。

中学生 ・3名（11/17）

高校生 ・5名（7/25、7/26）

## 7. 一時的保育事業

イ) 非定型的保育サービス 554件

ロ) 緊急保育サービス 0件

ハ) 私的理由による保育サービス 378件

## 8. 苦情処理

1件

保護者の方から運動会延期の経緯について説明してほしい旨のご指摘を頂きました。雨天により2回延期せざるを得なかったこと、天候不良等により2回延期した場合は

週明けの平日に運動会を開催するならわしになっていること、平日開催しないと行事日程が過密になり保育に支障をきたす恐れがあることなどの理由をお手紙にまとめて丁寧にご回答させて頂きました。また、他の保護者の皆さまにも同じ内容の説明分を掲示して周知させて頂きました。

## 平成28年度 なぎさ第二保育園事業報告書

なぎさ第二保育園運営について

(H~~28~~<sup>29</sup>年3月現在)

|          |     |       |
|----------|-----|-------|
| なぎさ第二保育園 | 児童数 | 90名定員 |
| 0歳児      | 5名  |       |
| 1歳児      | 12名 |       |
| 2歳児      | 13名 |       |
| 3歳児      | 21名 |       |
| 4歳児      | 22名 |       |
| 5歳児      | 21名 |       |
| 合 計      |     | 95名   |

|          |     |       |
|----------|-----|-------|
| 分園渚ピクニック | 児童数 | 21名定員 |
| 0歳児      | 5名  |       |
| 1歳児      | 8名  |       |
| 2歳児      | 8名  |       |
| 合 計      |     | 21名   |

|     |     |          |            |
|-----|-----|----------|------------|
| 職員数 | 23名 | 園長       | 1名         |
|     |     | 主任保育士    | 1名         |
|     |     | 保育士      | 22名(産休中3名) |
|     |     | 保育士(パート) | 3名         |
|     |     | 保育士(派遣)  | 3名         |

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| 嘱託医 | 2名 | 内科医 | 1名 |
|     |    | 歯科医 | 1名 |

給食委託 5名 日清医療食品株式会社

## 1. 保育のねらいと反省

- イ) 分園渚ピクニック庭工事、室内窓フィルム工事をすることで季節を感じ、限られた園内をより効率的に保育ができるよう努め、なぎさ第二保育園との交流や保育協力をすることが出来ました。また、近隣小学校夏休み中には、朝夕時間、職員が近隣小学生と園児送迎の安全のため、道路に立ち近隣安全管理に努めることが出来ました。

ロ) なぎさ第二保育園、渚ピクニック 2 施設の交流について、3 歳児進級で合流する 2 歳児クラスについて年間を通じた交流を計画し H29 年度の 3 歳児クラスにスムーズに合流できるよう行事、散歩、保育をすすめました。結果として保護者の安心にもつながりました。

ハ) 近隣乳牛牧場との交流について、2 歳児クラスから 5 歳児クラスまで散歩の目的地として設定し、最終的には 5 歳児が搾乳体験まですることができた。普段飲んでいる牛乳など、どのようにして作られているか、動物の飼育にも興味をもって保育が出来ました。

|         |           |                        |
|---------|-----------|------------------------|
| 二) 保育時間 | 短時間保育時間   | 8:30~16:30             |
|         | 短時間保育延長時間 | 7:00~8:30, 16:30~19:00 |
|         | 標準保育時間    | 7:00~18:00             |
|         | 延長保育時間    | 18:00~19:00            |

## 2. 主な園の行事

新入園歓迎会 花祭り 遠足 懇談会 七夕祭り プール開き 夏祭り会  
高校生との交流会 中学生との交流会 引取訓練 運動会 防火大会 芋ほり  
ハロウィン クリスマス会 どんと焼き 餅つき大会 発表会 お別れ会  
誕生会 まめまき 卒園式 避難訓練 交通安全指導 防犯訓練

## 3. 保育園の取り組み

- イ) 乳児リトミック 0,1,2,3 歳児クラスより音楽に合わせて体を動かすリトミックを取り入れることで、リズムと健康な発達に努めた。
- ロ) 5 歳児英語教育 ECC ジュニアの外部講師が月 2 回程度、3,4,5 歳児はコスモスポーツクラブ体育指導を行い。湘南スイミングプール指導、湘南サッカー体験などを行い活動導入におけるきめ細かな経験ができた。
- ハ) 蚕の飼育、野菜作り、石釜ピザづくり、育てたお米で飯盒炊飯などを行い食についての興味や知識を学ぶことができた。

## 4. 健康診断

嘱託医による定期内科検診は 5 月、10 月の 2 回行い、歯科検診は 6 月 11 月の 2 回行う。その結果を記録した。分園開園に伴い 1 月に追加で新入園児健康診断を行いました。

## 5. 保育環境及び施設整備

### ① 分園渚ピクニック庭工事

庭に水場や草木を植えたことで、季節の移り変わりを感じられ、子どもた

ちの遊びの発想が豊かに展開できるようになった。また、なぎさ第二保育園とのクラス交流や夏場の保育に役立てることが出来ました。

② 分園（渚ピクニック）室内改修工事

窓ガラスの装飾、室内穴倉壁面の装飾をすることで、心豊かな遊び方ができるように改修した。

6. 地域育児センター機能強化事業

① 育児教室開催事業

毎週木曜日に園を開放し、園庭や図書コーナー、又は砂場などで地域の親子で交流していただくために、外部講師や担当の保育士を決めて支援しています。また、保育制作日を決め、親子と一緒に保育制作を行えるよう支援しました。

地域の子育て家庭を登録、把握してゆくことで地域にあった支援方法を検討、実施できました。

② 子育て情報等提供事業

子育て家庭向けにセンターだよりの配布をし、子育ての相談や情報提供をしました。また、絵本の読み聞かせや貸し出しも行い地域の子育てに役立てました。

③ 保育ボランティア等支援事業

地域のボランティア等活用し、子どもたちのサッカー体験や梅ジュースづくり、ピザ焼き体験などを行いました。また、保育ボランティアの受入れも行い保育についての理解を深めることが出来ました。

④ 保育士研修事業

保育士の資質向上、新制度に向けた技術の向上を促進するために、研修に行った際、児童の安全と安心を確保するために職員の確保に努めた。

7. 地域社会に開かれた事業運営

(ア) 養成校の研修正の受入れについて 8月～9月、2月～3月 8名

養成校の実習受け入れを行い、保育士を目指す学生に2週間程度の保育実習を行う。事前説明や実習記録の確認、質問等にも答え将来の保育士として就職できるよう努めた。

(イ) ボランティア受け入れ

7月高校生4名 10月中学生4名 11月子育て家庭3名 その他各行事等地域の高校生、中学生、保護者が保育体験を通じ、保育園への理解、乳幼児への理解を深めてもらえるよう努めた。また、養成校の学生が実習期間外でも、行事等に見学、体験参加できるよう努め一年を通してボランティアの受入れに心がけた。

(ウ) 地域交流について

各行事に4、5歳が参加

地域のお寺行事である「花祭り」に参加しお釈迦様の誕生について住職よりお

話を聞かせていただきました。また、「どんと焼き」に参加するため地域の神社に手作り団子を焼きに行き無病息災を祈願した。

8. 一時預かり事業

|                   |      |
|-------------------|------|
| ① 非定型的保育サービス利用    | 95 件 |
| ② 緊急保育サービス利用      | 9 件  |
| ③ 私的理由による保育サービス利用 | 78 件 |

9. 苦情処理

今年は苦情としては特にありませんでした。